

平成 30 年 8 月 22 日

長野県感染対策研究会  
代表世話人 本田孝行  
長野県臨床検査技師会 感染対策委員会  
担当者 三浦 信樹

信州インфекションコントロール・サーベイランスシステム(SICSS)  
による長野県各地区の耐性菌分離状況についての報告  
～2018年7月データについての報告～  
(データ集計日：2018年8月21日 集計対象施設数：59施設)

2018年7月のVRSA、VRE、多剤耐性アシネトバクターの分離はありませんでした。  
上記に示す薬剤耐性菌は感染対策上、非常に重要な耐性菌です。疑わしい株が分離された場合は、  
下記問い合わせ先までご連絡ください。

<MRSAの分離状況について>

長野県全体の分離率は6.32%でした。JANISでの全国の分離率は6.31%（2017年7月～9月  
四半期報）であり、全国と同等な水準です。南信地区以外は先月と比較し分離率の低下を認めて  
おります。

<多剤耐性緑膿菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は0.04%でした。JANISでの全国の分離率は0.05%（2017年7月～9月  
四半期報）でした。北信地域と中信地域で1株ずつ検出されています。なお、1例でも分離が認  
められたご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

<第三世代セファロスポリン耐性大腸菌の分離状況について>

長野県全体の分離率は2.82%でした。北信地区では2ヶ月連続して分離率の上昇を認めてお  
り、北信地区以外では、横ばいまたは減少傾向にあります。JANISでの全国の分離率は2.32%  
（2017年7月～9月 四半期報）でした。JANISで2015年集計分より用いられている第三世代セ  
ファロスポリン耐性大腸菌の判定基準よりも、SICSSでの判定基準の方が厳しく設けられている  
ため、これらのデータは一概に比較はできません。なお、同一病棟または診療科から3例以上分  
離されているご施設には、感染対策ご担当者様宛に別途メールにてご連絡申し上げております。

耐性菌検出検査や SICSS データ等につきまして、ご不明な点などございましたら下記担当者  
までお問合せください。

**【SICSSのデータを用いた学術活動について】**

SICSSのデータを用いて学術活動（学会発表や論文執筆など）を行う際には、必ず下記担当者  
までご相談下さい。また、学術活動の成果物の提出にもご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先  
信州大学医学部附属病院 臨床検査部 春日 恵理子  
TEL: 0263-37-3493、 e-mail: erika@shinshu-u.ac.jp